

平成29年7月21日（金）
栃木県立県南体育館
メインアリーナ 15:30～
関東高等学校体育連盟水泳専門部

平成29年度関東高等学校水泳競技大会
第68回関東高等学校選手権水泳競技大会
兼第85回日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会

監督者会議 次 第

司会	栃木県高等学校体育連盟水泳専門部委員	関 健志
1 挨拶	栃木県高等学校体育連盟水泳専門部部長	大橋 芳樹
2 歓迎の言葉	栃木県水泳連盟会長	螺良 昭人
3 審判長挨拶	関東高等学校体育連盟水泳専門部委員長	岡安 敦
4 会場利用について	栃木県高等学校体育連盟水泳専門部委員	鈴木 正儀
5 開閉会式・表彰式について	栃木県高等学校体育連盟水泳専門部委員	鈴木 正儀
6 全国大会の申込について	栃木県高等学校体育連盟水泳専門部委員長	会田 英一
7 宿泊、弁当について	近畿日本ツーリスト宇都宮支社	大塚 直明
8 競技について	関東高等学校体育連盟水泳専門部委員長	岡安 敦
9 運営について	栃木県高等学校体育連盟水泳専門部委員	鈴木 正儀

4. 会場利用について

〈Ⅰ 入場〉

- (1) 開門時間は3日間とも体育館は午前7時15分、プール館は午前7時30分です。選手および監督・コーチと保護者のプール館への入場は、2階出入口とする。
- (2) 入場抽選について
 - ①監督者会議終了後、3日間の入場抽選を行う。
 - ②深夜・早朝から入場口に並ぶことの無いようにすること。
 - ③入場について、番号の若い順番に呼ぶ。入場抽選券を確認後、各校代表2名までが入ることが出来る。

〈Ⅱ プール館内〉

- (1) 館内はすべて土足厳禁とする。
- (2) 階段を含む1階は、すべて素足とし、履物等の使用は厳禁とする。
- (3) 2階・3階通路の利用については、与えられたスペースを各都県で譲り合って使用し、大会期間中の敷物はすべて禁止とする。
- (4) 観覧席(スタンド)の利用について
 - ①観覧席は2階・3階を利用し、大会期間中はローテーションにより、各都県に場所を指定する。各都県委員長のもと、譲り合って利用すること。
 - ②道具を用いての場所取りは禁止する。各学校で保護者にも周知徹底をすること。
 - ③身障者用エリアは使用しないこと。(スペースを確保する。)
 - ④スタンド最前列はフェンスに触れての応援は禁止する。
- (5) 更衣室のロッカーは、棚としてのみ使用可とする。更衣室に荷物などは絶対に放置しないこと。貴重品などは、各学校の責任において管理すること。置き荷物は、忘れ物として扱う。また、競技会終了後、残った荷物は処分する。
- (6) 会場(観客席・更衣室・ロッカー・トイレ等)を利用するときは、整理整頓に努め、ゴミは各自持ち帰ること。
- (7) 館内にあるエレベータの使用は禁止する。
- (8) 会場内はすべて禁煙とする。喫煙は、プール館外階段下の指定された場所のみとする。

〈Ⅲ 体育館内〉

- (1) 館内はすべて土足厳禁とする。
- (2) 館内はすべて素足とし、履物等の使用は厳禁とする。
- (3) 選手控所は各都県に割り振るので、互いに融通して使用すること。通路(避難経路)確保のため、指定場所以外の使用は禁止する。
- (4) マッサージ台について
マッサージ台の設置は、選手控所の各都県割当の2階スペースを利用する。狭いスペースなので、譲り合って利用すること。マッサージ台は最終日まで置いて行っても構わない。なお、他の場所でのマッサージ台の設置は禁止する。
- (5) 会場(観客席・トイレ・選手控所)を利用するときは、整理整頓に努め、ゴミは各自持ち帰ること。
- (6) 1階メインアリーナでの飲食は禁止とする。
- (7) 会場内はすべて禁煙とする。

〈Ⅳ 館外〉

- (1) 駐車場について
マイクロバスを利用する場合は、プール館南側臨時駐車場を利用する。
- (2) タクシー乗降場所(待ち合わせ場所)は県南体育館正面入り口を利用する。

〈V その他〉

- (1) ADカード（選手・監督証、チームスタッフ証）を使用する。プールアリーナ内および選手控所（メインアリーナ）では常時首からさげて使用すること。また、入退場の際は必ずADカードを提示し係の指示に従うこと。貸し借りは厳禁とする。学校名・氏名未記入は入場できない。
- (2) 撮影許可について
 - ①撮影許可書の発行はしない。観覧席（スタンド席）からの撮影のみ許可する。
 - ②会場内でのビデオ・カメラを撮影する場合は、競技や通行の妨げにならない場所で使用すること。また、フラッシュ撮影は禁止する。
 - ③違法な撮影が分かった場合は、警察に連絡をする。
- (3) 予選・決勝および表彰において、小旗、タオルや部旗の持ち込み入場は禁止する。
- (4) 部旗は、7月21日（金）10時30分から指定された場所のみ掲揚を認める。掲揚の際にガムテープの使用は施設保護から禁止する。（競技の妨げになる場合には移動または撤去する場合もある）
- (5) プログラムの販売について
 - ①プログラム（エントリータイム入り） 1部 2,500円
 - ②記録入りプログラムは販売しない。

5. 開閉会式・表彰式について

◎開会式

1. 日 時 平成29年7月22日（土） 9時30分
2. 会 場 栃木県立温水プール館メインプールサイド
3. 参加者
 - ①人員：返還団のみ整列する。（競泳男子、競泳女子、男子400mメドレーリレー、女子400mメドレーリレー、男子400mフリーリレー、女子400mフリーリレー、男子800mフリーリレー）
 - ②服装：開会式に参加する選手の服装については、各校のユニホームを着用する。（履き物は不可）
 - ③集合場所及び集合時間：開会式に参加する返還団（昨年度優勝校）は、9時20分までにプールサイドの所定の位置に集合を完了する。
3. 入場方法 入場行進は行わない。
4. 返 還 優勝杯返還者は進行係の通告後、大会会長前に整列する。競泳男子、競泳女子の順に返還し、レプリカを受け取る。終了後、一礼し、元の位置に戻り、二列目と入れ替わる。続いてリレーの優勝カップ返還を行う。男子400mメドレーリレー、女子400mメドレーリレー、男子400mフリーリレー、女子400mフリーリレー、男子800mフリーリレー、の順に返還する。終了後、一礼して元の位置へ戻る。
5. 退 場 閉会通告後解散、退場する。

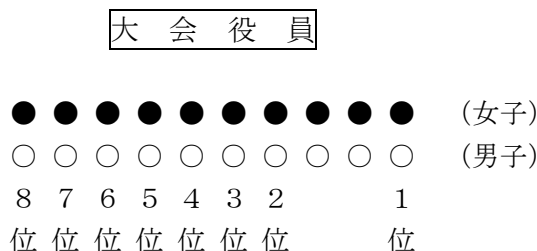
◎表彰について

- (1) 決勝の1位～3位の選手（チーム）に賞状を授与し表彰する。4位から8位に賞状を授与する。
- (2) 小旗、タオルや部旗を持つての表彰は禁止する。
- (3) 賞状の受け取りは、賞状引換所で行う。
- (4) 表彰式における賞状は全て無記入のものを使用し、8位までの入賞者（チーム）には競技終了40分後より1階賞状引換所にて授与する。
- (5) リレー種目では、学校保管用と各選手に賞状を授与する。

◎閉会式

1. 日 時 平成29年7月24日（月） 15時15分（予定）
2. 会 場 栃木県立温水プール館メインプールサイド
3. 参加者 ①閉会式には、優勝校は3名、2～8位までの学校は1名が整列する。
②服装：閉会式に参加する選手の服装については、各校のユニホームを着用する。
（履き物は不可）
③集合場所・時間：閉会式に参加する第8位までに入賞の学校は、15時05分（予定）までにプールサイドの所定の位置に集合を完了する。
4. 入場方法 入場行進は行わない。
5. 表彰式 男女総合1位～8位までに入賞した学校の代表者は、進行係の通告後、大会会長前に整列し、表彰を受ける。女子の表彰が終了後、一礼して男子と入れ替わる。終了後、一礼して元の位置へ戻る。

整列図



6. 退 場 閉会通告後、解散し退場する。

6. 全国大会の申込について

<競泳>

- ① 全国大会の出場資格を得た選手（チーム）は、プール館1階日本高校受付にて封筒（申込必要書類）を受け取ること。
※実施要項・その他の書類は、「はばたけ世界へ 南東北2017」ホームページからダウンロードすること。
- ② 「参加種目別一覧表（学校長認知書）」の「④地域大会主管団体提出用」だけを大会中に1階日本高校受付に提出すること。尚、「参加種目別一覧表（学校長認知書）①②③」・「参加料」・「宿泊申込書」などは、各都県の専門委員長まで提出すること。宿泊申込と宿泊申込金の納入は各校で行うこと。
※リレーのみに出場する補欠要員は、申込書類に同封するWebエントリー手順指示書に従い必ずWebエントリーすること。
※女子4×100mフリーリレーで全国大会に出場権を得られたチームは、4×200mフリーリレーにも出場することができる。出場の有無については、必ず受付の際に記入し提出すること。
ただし、補欠要員は、4×100mフリーリレーと同一人物（変更はできない）とする。
- ③ 受付時間は次の通りである。
7月22日（土）・23日（日）…13:00～競技終了後30分まで。
24日（月）…競技開始～閉会式終了後30分まで。

7. 宿泊・弁当について

近畿日本ツーリスト宇都宮支社より説明する。

8. 競技について

- (1) 本競技会は、2017年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 予選と決勝を行う。ただし、女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝とする。
- (3) 競技は、予選・決勝ともに10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (4) 決勝は、予選の結果上位10名が出場できる。ただし、棄権者が出た時は次点上位より出場権を与える。
- (5) 決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、抽選を行う。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は2名とする。
- (7) 招集は競技開始20分前から行う。なお、本人確認のためADカードを必ず持参する。招集の際に水着の確認を行う。FINAマークがはがれて無くなってしまった場合には、所定の届け出用紙に水着の製品番号を記入し、1階受付に届け出ること。
- (8) 決勝進出選手(チーム)に棄権が出た場合、補欠の選手(チーム)が繰り上げ出場となる。補欠は2名(チーム)も必ず決勝の招集確認を受けること。
- (9) 予選を棄権する場合、棄権用紙に記入し、当日の20分前(1日目:9時50分, 2・3日目:9時10分)までに1階受付に届け出ること。
- (10) 決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選種目終了後1時間以内に各都県委員長に申し出ること。棄権申告後、各都県委員長から審判長への申告・本部より棄権の受理及び繰り上げの決定を行う。
- (11) 棄権用紙・プログラム訂正用紙・リレーオーダー用紙は、1階受付で受け取り、必要事項を記入の上1階受付に提出すること。なお、監督者会議の受付でも用紙を準備するので、必要な学校は会議終了後に受け取ること。
- (12) 競技にはすべての装飾品をつけて出場することはできない。ただし、けがによるキズテープの使用は「審判長の承諾」により許可する場合もある。(審判長の承諾を得ること)
- (13) 背泳ぎのスタート時の入水は、足から入りスイムはしないこと。
- (14) 女子800m自由形では、400mでコール、700mで振鈴を行う。男子1500m自由形では、500mと1000mでコール、1400mで振鈴を行う。
- (15) リレー競技の引継ぎは、PT7000により判定する。
- (16) ゴールタッチは、タッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (17) 選手紹介は、予選競技では組のみの紹介、決勝競技では、音楽入場後、選手名・学校名を通告する。なお、800mおよび1500m自由形については、最終組のみ音楽入場、選手名・学校名を通告する。
- (18) 競技終了後は速やかに自分のレーンから退水する。特にリレー競技については、全自動装置の誤作動の原因となるので、速やかに上がること。
- (19) リレー競技において、スタート台付近の応援は全自動装置の誤作動の原因となる可能性があるので競技役員の指示に従い前方に進み出ないこと。
- (20) リレーオーダー用紙の各日の予選競技・決勝競技の提出締め切り時間はそれぞれ下記のとおりとする。オーダー用紙は配布した紙袋に入っているが不足などの場合は、1階受付でも受け取れる。

期 日	予選競技 提出締め切り時間	決勝競技 提出締め切り時間
7月22日 (土)	11時30分	15時45分 (予定)
7月23日 (日)	10時50分	16時50分 (予定)
7月24日 (月)	9時00分	13時10分 (予定)

9. 運営について

I. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
		開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
7月21日(金)公式練習日	10時30分	公式練習日(10時30分から17時00分)				17時30分
1日目:7月22日(土)	7時30分	10時10分	15時04分	15時10分	17時10分	18時00分
2日目:7月23日(日)	7時30分	9時30分	16時33分	16時40分	18時15分	19時00分
3日目:7月24日(月)	7時30分	9時30分	12時55分	13時10分	14時33分	16時30分

開会式7月22日(土)9時30分～ 閉会式7月24日(月)15時15分～(予定)

II. プールの使用について

(1) メインプール(50m×10レーン)

- ① 水深は2m、水温は27.5度に設定する。
- ② 練習時間及び公式スタート時間は、下記のとおりとする。

期 日	練習時間		公式スタート練習
	予選競技前	決勝競技後	
7月21日(金)公式練習日	10時30分から17時00分		11時以降、毎時00分から15分
1日目:7月22日(土)	7時30分～9時15分	17時45分まで	8時30分から9時15分
2日目:7月23日(日)	7時30分～9時15分	18時45分まで	8時30分から9時15分
3日目:7月24日(月)	7時30分～9時15分	なし	8時30分から9時15分

- ③ 昼休みの練習は、当日の決勝進出者のみとする。
- ④ 1・10レーンをダッシュレーンとする。ただし、1レーンは折り返し側から、10レーンはスタート側からの一方通行とする。また利用状況によりレーンを増やすときには、通告により連絡をする。なお、ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑤ 2レーンはペースレーンとする。(クロールのスイムでのみ使用可とする)
- ⑥ 本競技会場には、スターティングブロック式スタート台およびバックストロークレッジの設置はありません。
- ⑦ 練習での注意事項
 - ・プールに入水するときは、スタート台右側より足から入ること。
 - ・レーンロープにつかまらないこと。
 - ・止まっている選手は休んでいるものとみなし、追い抜くときはクロールで泳ぐこと。
 - ・ビート板とプルブイは使用してよい。
これ以外の使用を禁止する。(パドル・フィン・シュノーケル等は使用不可。)

(2) サブプール(25m×6レーン)

- ① 水深は1.3m、水温は27.5度に設定する。
- ② 練習時間は、開門時間から閉門時間15分前までとする。
- ③ ダッシュレーンは設定しない。(水深の関係で飛び込みは禁止する)
- ④ ビート板とプルブイとフィンは使用してよい。
これ以外の使用を禁止する。(パドル・シュノーケル等は使用不可。)